

基本構想・基本計画策定 特別委員会説明資料

◎次期基本構想・基本計画の策定について

1 本委員会から資料提出を求められた事項について

(頁)

- ・ 令和3年度以降の財政見通し（令和2年9月時点）…………… 1

令和2年(2020年)9月9日

財 務 部

令和3年度以降の財政見通し (令和2年9月時点)

現時点では、推計の前提となる地方交付税の概算要求や令和2年度人事院勧告などが示されていません。
このため、今回の財政見通しは、財務部でさまざまな条件を仮設定したうえで試算しました。
今後、数値は変動していく可能性があります。

令和2年9月
財 務 部

令和2年度の財政状況（9月時点）

1. 当初予算との主な差異

①市税・地方消費税交付金の減収	▲11.8億円
②地方交付税・臨時財政対策債の減	▲7.6億円
③減収補てん債の新規借入	4.0億円

合計（①+②+③） **▲15.4億円**

2. 財政調整基金への影響

既に中止となったイベント経費の減等を含めても、令和2年9月時点で、財政調整基金を**1.7億円追加で取り崩しをせざるをえない**状況

新型コロナウイルス感染症緊急対策基金へ20億円移したことと合わせると、残高は年度当初の想定よりも**21.7億円減少**

主な推計の条件

歳入の想定

(市税)

- ・ **リーマンショック時と同程度落ち込む**見込み（9月整理補正後予算を基準に算定）
- ・ R 2 年度の徴収猶予による減収は特例債借入れで補てん、R 3 年度に一括返済（1.8億円）
- ・ 市税収入の回復は経済財政諮問会議の『中長期の経済財政に関する試算』を参考に算定

(地方交付税)

- ・ リーマンショック後に増額されたことを踏まえ、同程度増額（R 3～R 5 年度）
- ・ 社会保障費の増など地方交付税に反映されるべき要素は推計に反映

歳出の想定

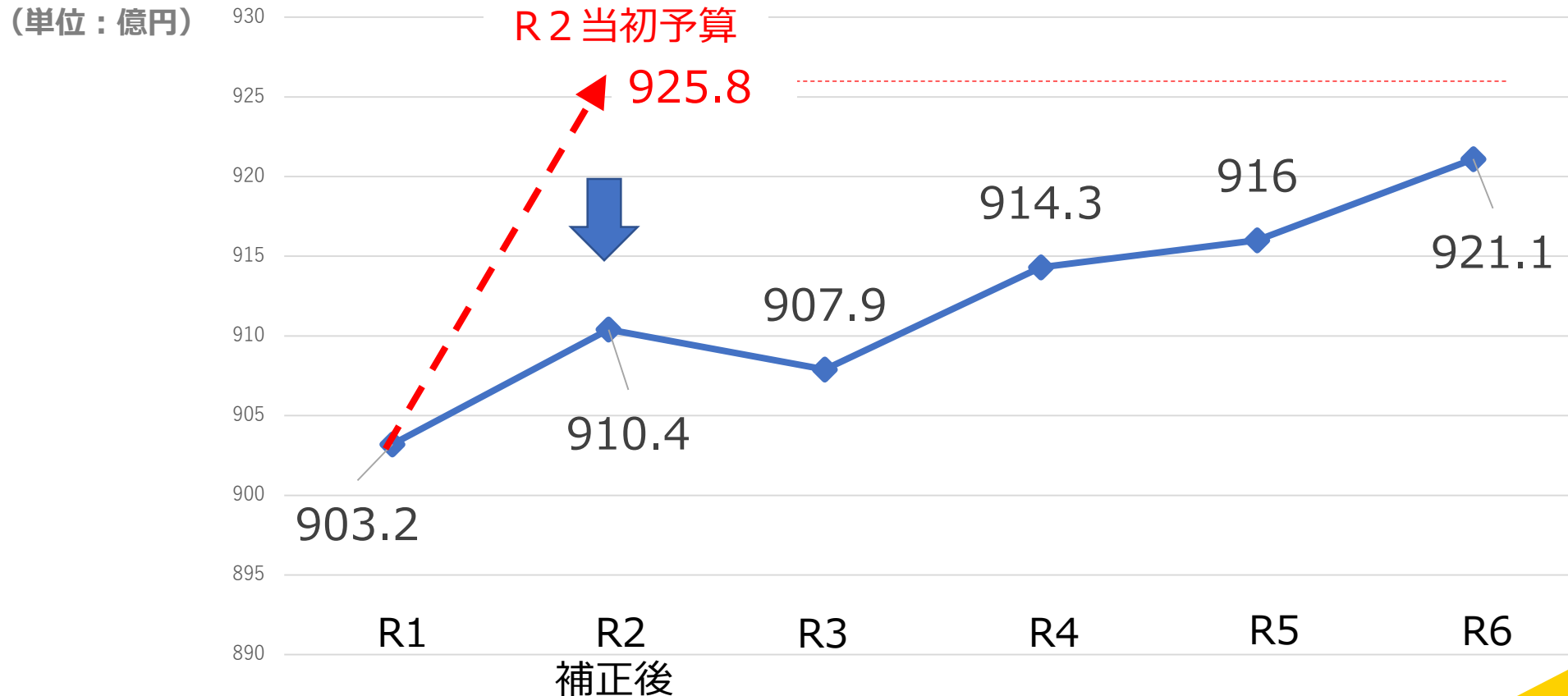
- ・ 現時点で見込まれる主な増減見込み（社会保障費等 1 件5,000万円以上）を反映
- ・ 横須賀再興プラン（実施計画）事業はR 2 年度予算額（一般財源）と同額で算入

財政調整基金

- ・ 今後、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金から10億円を財政調整基金に戻す
- ・ R 3 年度以降、より決算に近い予算編成を想定し、決算剰余金からの積立額は従来より減少

歳入（市税、交付税等）の想定

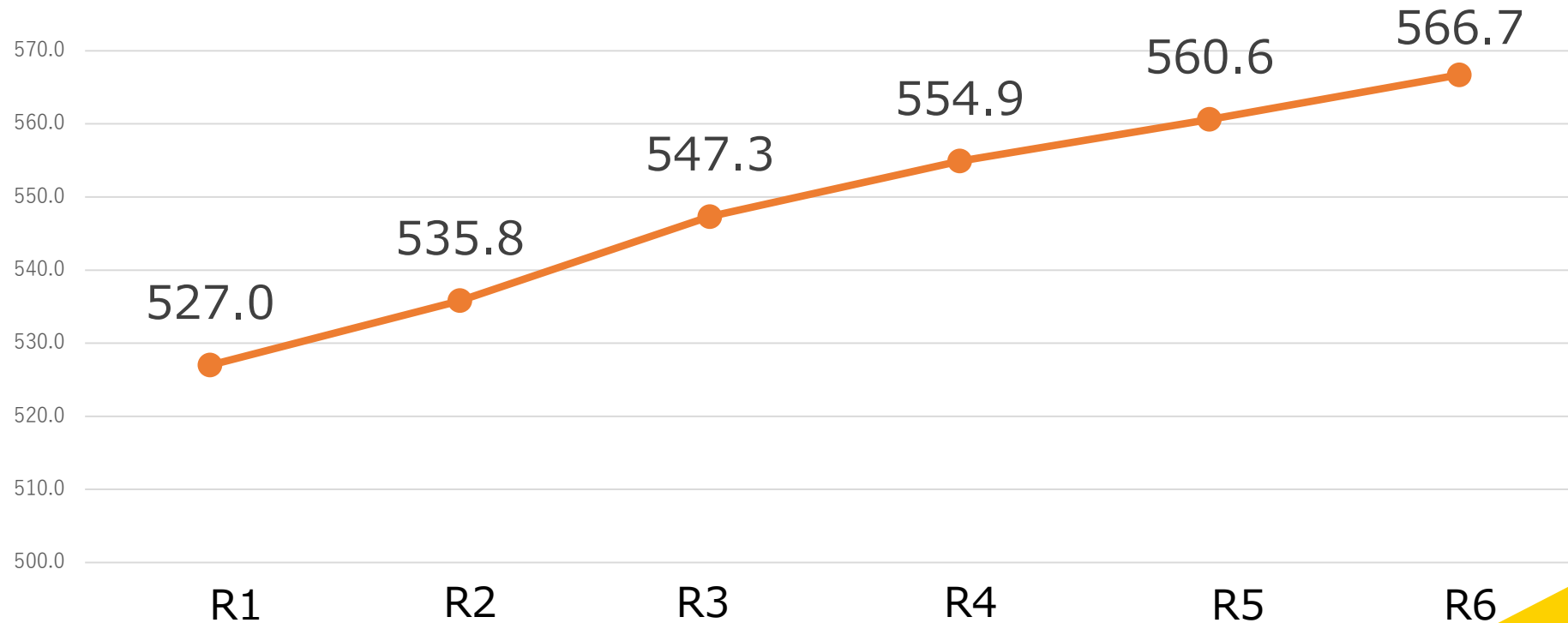
R2予算では消費税増税などにより、市税等は増加する見込みであったが、コロナの影響による税収減および交付税予算割れのため、減額補正せざるを得なくなった。今後は、緩やかな回復をたどり、R2当初予算並みの収入に戻るにはR7以降までかかる見込み



歳出（社会保障費）の想定

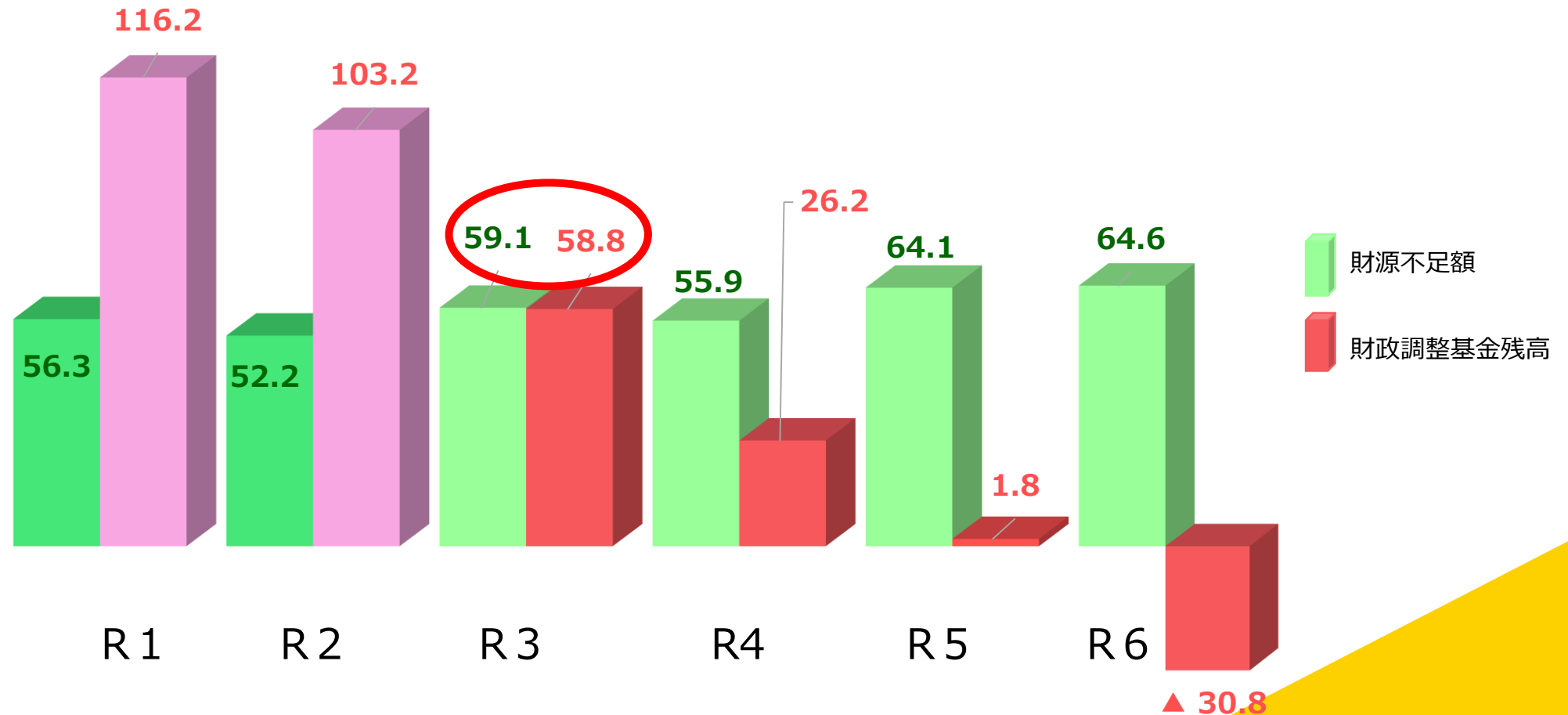
高齢化の進展による社会保障費の増加に加え、
コロナの影響による経済状況の悪化から、特に生活保護費が増加

(単位：億円)



令和3年度以降の財政見通し（令和2年9月時点）

各年度の当初予算時点での、財源不足額と財政調整基金の残高は、次のグラフのとおり
現在の試算では、R3年度当初の基金残高（58.8億円） < 財源不足額（59.1億円）
となり、財源不足を補うための**基金残高が不足する見込み**



収支改善の想定

仮に**R3で20億円**（一般財源ベース）の**収支改善**を行い
さらに、**R4以降も毎年6億円の収支改善**をした推計

